



今季は雪が多いですね。寒さもありますが、このご時世でもあり、家にいることが増えました。図書館にある本は限られていますが、興味のある本をぜひ探してみてください。



伊藤喬治先生 おすすめの新书推荐



『たのしい写真—よい子のための写真教室』



ホンマ タカシ著
平凡社

最初にいい写真を撮りたいと思ったのは、海外で山に登った時でした。それでちょっといいカメラを買うわけです。カメラを買ったら今度は撮影のコツが知りたくなって、そんなときに買ったのがこの本でした。とはいえ操作方法や機材、撮影のコツみたいな内容はほとんどなくて、大半は「決定的瞬間か日常か」「ありのまま撮れるか」等の読み物なわけです。一瞬何コレ騙されたと思いましたが、こういうテーマは保育記録にも通じるもので、実はその後、めっちゃチェーンスピレーションの元になっています。写真に関係なく、実習日誌を書く人は読んだ方がよいと思います。

田村禎章先生 おすすめの新书推荐



『ギャンブルの何が問題なのか？—国際比較から見る公共政策アプローチ—』

ベッカ・スルクネン 他 著
福村出版



皆さんは、「ギャンブル」と聞いてどのようなイメージを浮かべますか？おそらくあまり良いイメージを浮かべない人が多いかと思います。競馬、競輪、競艇、パチンコ、スポーツじ（toto）や宝くじ、パチンコ、パチスロなど、日本では制限されたかたちで「公営ギャンブル」が行われている実態があります。また、2016年12月に施行されたIR（統合型リゾート）推進法の成立に伴い、いわゆる「カジノ」と呼ばれるものが日本の特定地域に設置される可能性があり大きな話題となっています。2018年7月には「ギャンブル等依存症対策基本法」が成立されました。ギャンブル依存はいまや立派な疾患（病気）であり、社会全体で支えていかなくてはならない問題になっています。さらに、現代のネット社会では、オンラインでできるギャンブルや課金によるゲームなどもギャンブル性の高い「遊び」ができるようになってきました。

さて、本書は独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターの医院長である樋口進先生（ギャンブル依存症の専門医）の監訳によって、海外の「ギャンブルに関する研究」を行っている11名の著者によって解説されたもので、とてもわかりやすく記述されています。本書によると、「ギャンブル」とは「より価値のあるものを求めて価値あるものを危険にさらすこと」と国際精神医学会によって定義されていることの解説から始まり、ギャンブル依存症やその治療などから書き進められています。そして、注目すべき点は、「ギャンブル収益金（税金や特定課税）」は海外だけでなく日本にとっても重要な公共サービスの資金源となっていることでした。

社会福祉の授業では、この「ギャンブル」についてふれることがあります。それは、社会福祉立法の原型のひとつである、昭和4年（1929年）に「救護法」が成立されたときが始まりです。国が救護法の予算不足で実施できなかった際に、当時の「競馬法」を改正して資金調達をした経緯がありました。実はギャンブルと社会福祉は関連性があったのです。冒頭で述べたIR推進法でも明らかのように、海外においてたくさんの公共事業や福祉・文化事業の発展のためギャンブル収益が資金となっている実態がありました。歴史的・社会的に人々がつづけてきた社会福祉政策のなかに、ギャンブルの存在があったのです。

ギャンブルと福祉…、一見物事が関連しないことと思っても、社会のなかでは関係があることはたくさんあります。社会福祉（保育・教育）を学ぶことはとても広い視野が必要です。ぜひお薦めしたい文献です。ただし、「ギャンブル」そのものはお薦めできません。うっかり、依存症にならないように注意をしましょう。

目次

- ・伊藤喬治先生の新书推荐
- ・田村禎章先生の新书推荐
- ・その他の新着本案内
- ・学生さんによる絵本紹介
- ・図書館からお知らせ

その他の新着本の案内



学生さんによる絵本の紹介



『はしれ！ねこねこえん』 井上ようこ 著 いけずみひろこ 絵 チャイルド本社
Mさん 紹介

この本の主人公ぶうたはねこねこ村に引っ越してきたばかりです。今日から通うねこねこ園は知らない子ばかりの知らない園なので、不安で行き渋ってしまいます。そんなぶうたを迎えに来た先生に促され、バスの中を覗いてみると、なんとバスがまるごとねこねこ園なのでした。そこには楽しそうな光景が広がっていて、ぶうたは思わずバスに乗ってみます。そこで待っているのは、先生や友達との楽しい時間でした。これは、私が小さい時に大好きだった絵本です。こんな園に通いたいと思わせる場面の数々やカラフルなイラストが特徴で、所々しりとりや歌、言葉遊びが組み込まれていることで子どもがわくわくする絵本になっています。これから園に通う子どもたちにはピッタリだと思うので、読んでもらいたいです。ぜひ一度手に取ってください。



『とんことり』 筒井頼子 著 林明子 絵 福音館書店
Yさん 紹介

主人公のかなえは山の見える町に引っ越してきたばかりでした。お父さん、お母さんと荷物の整理をしていると、「とんことり」。玄関の方で小さな音がしました。かなえが玄関に行ってみると、郵便受けの下にすみれの花が落ちています。次の日は、たんぼぼが3本、その次の日は、手紙が郵便受けに入っています。かなえは誰が届けてくれるのだろうと考えている時、またあの音が聞こえました。一体、誰からでしょうか？不思議な「郵便物」をめぐる、大人の心も温かくしてくれる絵本です。幼い頃、母に読んでもらった絵本の中で一番印象に残っていて、大好きな絵本であり、最後のページには、喜びに満ちた温かい絵が描かれているので、ぜひ読んでいただきたい絵本になっております。

ユマニテック短期大学 としょかんだより

6号 (2022年1月25日発行)

ユマニテック短期大学 図書学術委員会
〒510-0066

三重県四日市市南浜田町 4-21

TEL 059-356-8170

<https://www.jchumanitec.ac.jp/library/>
☆OPAC (蔵書検索) はこちらから↓



図書館からのお知らせ

<長期貸出期間について>

1年生の皆さんは、現在実習前の長期貸出期間になっており、返却日は **3/8 (火)** です。実習先での読み聞かせ用の絵本や、実習記録の書き方など、この機会にご利用ください。

<2年生の皆さんへ>

卒業式までに必ず借りている図書を返却しましょう。

みなさんの原稿を募集します！

新刊紹介やおすすめ絵本の紹介などの原稿を募集します。

採用された方には図書カードを進呈します。ご応募お待ちしております。

詳しくは図書館カウンターまで。